

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月3日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|--|
| 事業所番号 | 4690100393 |
| 法人名 | 医療法人 友志会 |
| 事業所名 | グループホーム友友 |
| 所在地 | 〒892-0811 鹿児島市玉里団地二丁目5番1号 (電話) 099-229-8222 |
| 自己評価作成日 | 令和5年2月2日 |

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.wam.go.jp/ |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|---------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま |
| 所在地 | 鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号 |
| 訪問調査日 | 令和5年2月27日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1階に循環器内科クリニックがあり、平日は医師・看護師が在中している。クリニックは在宅療養支援診療所の届出をしており、良友の入居者様は月2回の訪問診療を受ける事が出来るため、御家族も安心して預けられると御意見をいただいている。

スタッフは地元住民を多く採用しており、落ち着いたケアサービスを提供している。

開放的な環境で雰囲気がよく、御家族にも来訪しやすく話しやすい関係性がある。遠方の御家族にも定期的にお越しいただけるなど交流を設けている。

1日30品目を心掛けた手作りの食事を提供し、御利用者の状態に応じて調理内容も工夫を行い、万遍なくお召し上がりいただけるようにしている。

入院・加療が必要になった際には、くわはたクリニック医師が地域の医療機関と連携を執り、移籍がスムーズに出来ている。退院後も検査や専門的治療を受けた専門機関との連携を通じ、くわはた主治医のもと引き続き健康管理やフォローを受け、安心して生活出来ている。

看取りを行っているため、重度化された際にも拠点を移す心配もいらず、人生の最期まで住み慣れた環境で過ごすことが出来ると安堵いただけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、鹿児島市役所から車で10分程の玉里団地の中心部に法人母体(協力医療機関)の2階に平成20年に開設している。同一敷地に「グループホーム玉里」やデイサービス事業所も併設されており、これらの事業所は法人本部を中心に情報の共有や災害時の協力体制を構築している。周辺には、郵便局や薬局、金融機関、コンビニ、スーパーマーケット、個人商店、個人住宅等が立ち並んでいて利便性も良い。

管理者および職員は、利用者の尊厳や人格、想いを大切にしながら、4項目の運営理念を常に意識して利用者に寄り添う姿勢のケアに努めている。現在、法人理事長の意向も聞きながら職員全員で理念についての勉強や話し合いを行って適切な文言を使えるよう検討中である。

管理者及び職員は、開設以来家族や地域との交流を大切にしており、コロナ禍の中でも感染予防に配慮しながら家族や友人との面会を実施し、家族の協力を得て外出、外泊、一時帰宅等に取り組み、また、日常的に買い物や美容室に出かけたりボランティアや学生の実習等も受け入れており、利用者はこれらの交流を楽しんでいる。余暇時間の過ごし方についても利用者の意向に添って柔軟に支援し、その人らしい笑顔と生きがいのある日々となるような支援に努めている。食事は利用者の何よりの楽しみで関心も高いことに配慮して、好みや旬の食材、形態、盛り付け等を工夫し1日30品目の食材での調理と食品ロスが無いように努めている。利用者との手作りのおやつ(アイスクリーム、蒸しパン、チョコフォンデュ他)も利用者の楽しみとなっている。

管理者及び職員は、信頼と協力のある良い人間関係を築いており、日頃の業務の中やミーティング、個別面談等で要望や意見を出し合って運営やサービスの向上に努めている。勤務シフトには有給休暇取得の促進や個人的事情も配慮するなど働きやすい環境作りに取り組んでる。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 理事長の掲げる敬愛の精神の元、地域で暮らす人々を医療と介護で末永く支える事が出来るよう、法人と現場との思いと方向性を一つにして取り組んでいる。 | 利用者の人格や尊厳を大切に、平穏な生活が過ごせる支援を運営理念に掲げ、事務室や廊下等への掲示や職員のネームプレートに明記して周知を図っている。ケアの姿勢「目配り、気配り、心配り」を常に意識しながら敬愛の気持ちで理念に沿った支援の実践に取り組んでいる。4項目の理念をもう少し簡潔な表現に変更できないか全員で検討中である。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 日常のお買物や散髪など地域の商業施設を利用し、地域と共に支合うという思いで生活している。御自身でも御支払をしていただくなど、直接交流や会話出来る機会を作っている。 | 開設以来、地域の情報の把握に努め、円滑に交流する関係を築いており、コロナ禍の中でも感染予防に配慮しながら家族・友人の面会や日頃の散歩及び買い物時には地域の人と話し、ボランティアや中学・高校の生徒の実習の受け入れ、家族との外出や外泊も継続している。これらの交流は利用者及び家族の楽しみとなっている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている | ボランティアを積極的に受入れ、中学生、女子高生、社会人からも絵手紙などの贈物が届くなど支援の輪が広がっている。ハロウィーンでは幼稚園児とゲームを楽しみ、交流を深める事が出来た | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 区長や民生委員、長寿あんしん相談センター、御家族代表の御参加にて相談事や課題にも貴重な御意見をいただき、大変心強く安心感もあり、ホームの取組や活動の内容も広がりが出てきている。 | 会議は2か月毎に開催しており、家族代表や地区長、長寿安心センター、民生委員等が出席してホームの状況の報告や課題等の意見交換を行っている。コロナ禍で書面会議で開催した時も議題に沿って委員から意見等を貰い改善を図っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 不明点や課題に応じて相談事も積極的に行っている。窓口や電話など各担当者からわかりやすい回答を得ることが出来、運営に大きく役立てられ、管理者や職員の安心感に繋がっている。 | 市役所や地域包括支援センターには窓口に出向いたり電話等で介護保険や各種制度、感染症予防に関する協議や相談等を密に行い助言や指導を貰うなど、日頃から協力関係を築いている。WEB会議システムの環境を整備し、市主催の会合や研修にも積極的に参加して運営やサービスの向上に努めている。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 安易に道具に頼らず、御利用者の思いや意向を受止め、認知面や特徴を知り、話し合いや工夫を行い、身体拘束をしない取組を行っている。定期的に地域の方々や御家族を含めた委員会を設け、御意見をいただき | 身体拘束や高齢者虐待については計画的な研修の実施で周知を図り、日々の申し送りやミーティング時に振り返りや意見交換を行って拘束や虐待の無いケアに取り組んでいる。身体拘束適正化のための指針も整備し、委員会（年4回）も開催している。日頃の関りの中で利用者の思いの汲み取りに努め、スピーチロックを含む不適切なケアには、その都度、助言し合うなど日常的に改善に努めている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 外部研修に毎年参加し、その内容を現場職員にも定期勉強会で周知する機会を設けている。また御利用者の症例を検討したりケア方法を見直すなど、職員のストレスが生じないようにカンファや相談の機会を設けている | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 財産管理等の手続きに必要な金融機関との連携等支援を必要に応じて行っている。御家族同士の関係性等にも充分留意し支障が出ないよう皆で把握に努めている。多様性にあるため慎重に対応していきたい | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 事前に説明を行い入居時にも不安がないよう努めている。また随時相談にも応じ、都度話し合いながら経過している。話の行き違いが生じないよう必要時は別紙で補うなど誤解のないよう工夫している。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 話しやすい関係性や環境雰囲気作りなどに努めている。必要時には他関係者等にも調査を依頼したり話を伺い、御家族の本音や御意向などの情報収集を行っている。必要時には法人上層部が介入し話を伺う機会も設けている。 | 利用者や家族には意見や要望を言い易い雰囲気づくりを常に心掛けている。利用者の思いは日頃の会話や仕草等で汲み取り、家族からは面会や電話、手紙等で、また、写真にコメントを添えた「良友新聞」でも利用者の生活状況を伝えて要望等を把握し、ミーティングで協議して改善に努めており、アンケートの結果からも家族の信頼度の高さが窺える。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 意見や見解を聴取し現場や運営に役立てている、上層部も職員と面談する機会を設け、意見や要望、実態の把握に努め、職員一人一人の個性に応じ働きやすいよう環境整備に努めている。 | 管理者及び職員は気軽に意見や要望が言い合える信頼関係を築いており、業務の中やミーティング、個人面談時に要望や意見を出し合い、内容によっては法人本部とも協議しながら改善を図っている。ケアへの助言や研修へ日常的に取り組み、勤務シフトには有給休暇の取得や個人的事情にも配慮する等、働きやすい職場づくりに努めている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 管理者から常日頃の状況を伺うなどし評価の機会を設けている。また職員へ直接個別に面談を行うなどし状況把握に努め、個性や能力、方向性に応じ、展望性を見極め、昇給や研修の機会等提供している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>次世代の担い手を育てるため、管理者へも指導教育に関するアドバイスをを行い、年間を通して職員の能力や職種に応じた研修や勉強会参加の機会を提供し、スキルアップのフォローに努めている</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>クリニック勉強会や研修参加を積極的に行い地域医療福祉従事者と知合い交流する機会を作っている。他事業所の職員と事例相談や御意見を伺う機会も設け関係構築に努めている。新聞で取組みも定期的に紹介している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 上手く伝えられない方も多いため、御本人のこれまでの話を担当者や御家族から伺い現状を把握し、不安や不自由が生じないよう職員全体で行動やサインを察知し思いや希望を導き出せるようケア検討を行っている | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居に至るまでの間にも何度でも面談を行い、不安が残らぬよう御希望に応じすり合わせや環境整備に努めている。また日頃から御家族と話をする機会を設け、御意見が言いやすい関係作りに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 環境変化に伴う精神への影響が一番の課題とするところであり、御家族や関係者等と御本人の入居前の状況からアセスメントを行い、毎日の経過と共に話し合い検討を重ねながら慎重に進めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | それぞれに思いや考えがあつての事と捉え、経過を観ながら都度ケアの見直しを行っている。また職員も環境の一つであり御利用者の生活の一部である事を踏まえ、身近で安心出来る存在を心掛けている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 当事者として状況把握や考え模索しながらケアや方向性を検討していただいている。コロナ禍ではあるが面会や外出の機会を制限される事なく、お互い触合える温かい関係性を維持し支援いただいている | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | コロナ対策への御理解と御協力をいただいた上で、築き上げて来られた関係のある場所や人々にも触合える機会を制限なく提供出来ている。御家族の協力もあり仕事としていた不動産点検や外出外泊も行っている。 | 利用者毎に馴染みの人や場を共有し、家族の意向も確認しながら支援している。感染予防に配慮しながら家族や友人との面会や外出、外泊を実施し、日常的に周辺の商店での買い物や散歩、美容院等で地域の人との交流を楽しんでいる。家族との電話や手紙の取り次ぎに努め、毎月発行の「良友新聞」でも生活状況を伝えるなど関係の継続に努めており、携帯電話を所有している利用者は日常的に会話を楽しんでいる。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 安心出来る方と配置するなど人的環境は勿論、必要時は家具や視界の工夫を行い保護したりしている。対応後も経過を観ながら都度検討し関係性や環境の見直しを行っている。寝たきりや閉じ籠りも予防している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 地域住民の方も多く、入退去事前後の情報を御家族や関係者等からいただいだけ、事例検討などを行っている。一旦は入居を見合わせても定期的に連絡が入り状況報告や相談などに応じている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の行動や表情表出やサインなど状況や情報により都度検討見直し行い想いに添えるよう努めている。個性や多様性もあり変化もしやすいので毎日の観察や関わりを大事にしている。 | 利用者の思いは日頃の会話や仕草等から汲み取り、その人らしい生きがいのある暮らしの支援に努めている。利用者の意向に沿って俳句詠み、活花、読書、ぬり絵、台所の手伝い等の取り組みを、体調や残存能力に配慮しながら個別に支援する等自己決定も尊重している。ホールには本棚と読書スペースを設けるなど環境の整備にも工夫している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 御利用者からの行動やサインから、何が影響しているのか過去を遡り関連性をもって考えたり原因を探るなどケア方法を模索するのにも御家族や関係者からの情報も役立てている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 意欲を引出したり自然と気持ち前向きとなるよう関わりを大事にし、無理強いせぬよう工夫し気を付けている。体力や好み意向も様々なので多様性に柔軟に対応出来るよう努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 誰もが話しやすい雰囲気で見聞したり考えを表出したり出来るよう関係性の構築に努めている。貴重であり思いやりの心で接する事ができている。意見や考えも尊重出来るよう大事な存在として捉えている。一人一人がチームを支えているという責任も持ち合わせている。 | 本人・家族の意向を把握し、主治医の指示やモニタリング、ミーティング時の職員意見を基に、生きがいや趣味等にも着目した介護計画を作成している。ケアの実施状況は申し送りや業務日誌等で共有し、利用者の状況変化時には計画を修正して改善に取り組んでおり、計画の内容は家族の理解も得ている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 細目に日々の御様子を観察確認し、送りや記録内容にも視野も広がりそれぞれの担当や役割の中以外でも意見出来ている。苦手意識や負担で避ける事なく積極的に記録に取り組み、情報を共有出来ている。計画や実践に活かせるようになった。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 起きている事の原因を探り広く視野を持ち必要なケアを検討し実践に繋げている。御利用者もそれぞれのニーズがあり多様化しているので柔軟性を持ち日常に取入れられるよう工夫し時間を作り実践に繋げている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 還元の意味を含めて地域商業施設を利用するなど生活に利用している。民生委員や区長からのアドバイスや情報を得て住民や幼稚園児らとの交流の機会もあり、地域と共存している事を感じられるよう取り組んでいる | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 循環器内科クリニック併設であり経過毎に説明や話し合いを行いながら治療を進めている。状況次第では他医療機関との連携を主治医や看護師が行っており、早期対応やフォローもいただくことが出来ている。 | 利用者毎に病歴等を把握し本人・家族が希望する医療機関での受診を支援している。殆どの利用者が階下の協力医療機関を主治医としており、定期的な訪問診療（月2回）が実施され、専門医へは家族と連携して受診（状況によっては介護タクシーも活用）するなど適切な医療が受けられている。日頃から衛生や健康管理が徹底され協力医療機関との連携も十分で、利用者及び家族の安心に繋がっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 医療面やケアの相談や、主治医への取次等も常日頃から協力いただく事が出来ており、話しやすい関係にあるので職員も安心して働くことが出来ている。薬局の薬剤師も内服相談に応じて下さりケアに活かしている | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 受診から職員が付添い、治療に必要な内容も一緒に説明を受けている。途中経過も電話や訪問などで確認や説明を受けながら退院の時期を見越して受入る準備などを行っている。入退院に必要な連携や引継も担当者と時間を合わせ行うことが出来ている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に説明を行い、経過や状況を常日頃から御家族へも把握していただいている。重症化した場合にも変化を常に連絡し、主治医を含め方向性や意思確認を行い問合せしやすい関係を作り一緒に支援しているので、馴染みある環境で安心して最期を迎える事が出来ている。 | 重度化や終末期の対応は入所時や病状の変化に応じて本人や家族に説明して理解を得ている。利用者が重度化した時点で主治医や家族と十分に話し合っ可能な限り希望に添った支援をチーム体制で取り組んでおり、これまでも年1～2件の看取りを実施してきている。看取り後は振り返りや意見交換を行ってスキルアップや不安感の軽減を図っている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 御利用者の病状や既往、服用している薬などを把握している。事故や緊急時にはすぐに管理者へ報告し必要時には主治医へ判断・指示を仰ぎながら早期に連携して対応している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>建物が鉄筋であり土砂水害地区ではないので、火災以外は外へ避難せず建物内にとどまるよう訓練している。消防署の協力を得て、防火管理者の立会の元、年2回夜間発生も想定した火災訓練を実施している</p> | <p>消防署の協力を得て年2回夜間発生も想定した火災中心の訓練を、近隣の「有料老人ホーム天照」や「グループホーム玉里」と協力して実施し、避難や通報、消火器等の取扱いの研修も実施している。日頃から災害パターンに対応した避難経路の確認や災害事例を基に意見交換するなど、認識を共有している。スプリンクラーや自動通報装置、防火扉等が設置され、連絡網の整備や業者による設備の点検も行っている。災害時の食糧・飲料水、介護用品等は消費期限を確認しながら備えている。BCPの作成については動画も使って全員で勉強し現在作成中である。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 人生や誇り、性格、精神面等、個別性にも配慮し気を付けながら接している。ケアが上手くいかない時にも自分達の対応をチームメンバーに評価してもらいながら振り返りや気づきとしている | 人格の尊重やプライバシー確保、守秘義務については研修の実施やケアの中で認識を共有し、常に「目配り、気配り、心配り」を心掛けている。利用者の思いや個別性も大切に、特技（生け花や俳句詠み等）の活かせる場も設定している。入室時は声掛けやノックを励行し、衣服の選択、趣味等は自己決定し易いような働きかけを行っている。情報紙への掲載については入所時に意向を確認しており、帳票等も事務室で適切に管理している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 言葉や態度で抑えつけてしまわないよう御一人お一人が意志尊厳のある存在として接している。上手な職員のケアを参考にしたりカンファ等で振り返りを行いながら取組んでいる | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 希望や想いに添いつつ寝たきりや閉じ籠りとならぬよう御利用者同士の関係も築き、無理強いは避け、参加が楽しみとなるような働き掛けを心掛けている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | スキンケアに必要な日課としている時間にも余裕をもって対応している。好みや愛用品も御家族からの情報をもとに生活に取入れ、御自身でも選択できるよう働きかけている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 毎日の生活の中で観察し、食への興味が何時までも継続出来るよう工夫している。嗜好にも柔軟に対応しつつ偏りが生じないよう万遍の無いメニューで対応している。調理レクを時折実施し成果を得ている。 | 利用者の好みや形態、栄養バランス、アレルギー、季節感等に配慮し、1日に30品目の食材での調理に努めている。おせちや誕生会等の行事食や利用者との調理レクレーション（蒸しパンやアイスクリーム、チョコフォンデュ他）等、食事が楽しみなものになるよう工夫し、活花等で雰囲気づくりにも努めており、利用者も準備や片付け等を楽しみながら一緒に行っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食が毎日の健康にとって欠かせないものとして意識し、塩分や糖분을控え栄養やエネルギーとなる素材を1日30品目バランス良く活かし個々に合わせた調理を行い提供している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 訪問歯科の指導・協力をいただきながら御利用者の歯の健康を維持出来るようケアに取り組んでいる。嫌がる御利用者のケア方法が課題である | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 内服や食事水分の関連性、個々のリズムやパターンを見出し、おむつの選定や働きかけの方法やタイミング等を検討している。定期的にモニタリングしながら次の対応方法を模索している。排泄ロボットも導入予定。 | 利用者毎の排泄リズムや習慣を把握し、昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援している。心身の状況に応じた介護用品及びケアの方法を介護計画に反映させて改善に努めており、介護用品の軽減等の改善もみられている。便秘の予防に食物繊維や水分の摂取、運動量等に配慮し、状況によっては主治医にも相談して薬も服用しながら改善を図っている。来年度は排泄ロボットの導入を検討している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 内服は勿論、食事水分の摂取状況や内容、日々の運動性等々の観察確認しつつ対応している。観察と記録を実施し、パターンを見出したり、排便を誘発しやすい繊維物や水溶性の食材を利用し個別に対応している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 週2～3回季節考慮し実施している。日々の体調状況により柔軟に対応している。皮膚状態によっては毎日実施したり、白癬ケアやリラックス効果のために足浴を取入れる事もある。 | 週2～3回入浴を基本に、清拭や足浴等も取り入れながら清潔を保持している。温度や時間、習慣、同性介助等は意向に沿って柔軟に対応し個浴で楽しんでもらい、入浴後は水分補給や軟膏の塗布等を支援している。入浴をためらう利用者には無理強いないで時間や声かけ等の工夫で意欲を促し、入浴が職員とのコミュニケーションの場にもなっている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 緊張や高揚させぬよう就寝前の照明を落としたりリラックスできるように声のトーンや対応等、雰囲気にも気を付けている。24時間を通してリズムを観察したり温度や環境にも配慮している | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 医師の指示である薬の重要性も理解しつつ、効果や副作用を調べたりしながら御利用者の状態やサインの変化時に備えている。薬剤師にも相談し、主治医への報告などに役立てている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 興味や気持ちがそそられるような声掛けや触発が出来るよう思考し、ゲームや体操等で活動性ある毎日が送れるよう取組んでいる。閉じ籠りが無くなり活動内容も広がってきている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 御家族の協力を得て自宅に外泊したり、不動産管理や馴染みのある場所に出掛けることが出来ている。また希望や御要望、これまでの生活習慣などに応じてその支援が必要な場合には実施出来るよう手段を関係者らと検討している。 | コロナ禍はあるが感染予防に配慮しながら周辺の散歩や家族との外出、一時帰宅等に取り組み、近隣の商店での買い物や美容室での整髪、近くの公園での花の鑑賞等を個別に支援している。利用者全員での外出は難しいが、ホーム内での軽い体操や音楽療法、手作りのゲーム、ボール遊び、季節に応じた作品作り等を工夫してリフレッシュを図っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 生活の楽しみの一つである買物や金銭管理が自由に行えるよう、紛失によるトラブル対策を事前に話合った上で、利用したり所持する管理をお任せしている。付添い支援する事もある。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している | 携帯電話の使用は制限はせず自由に御使用いただき、固定電話でも環境を整えてゆっくり大事な方のお話ができるよう支援している。手紙も読んで差し上げ差出人の気持ちを伝えている | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | LED照明で日内変動や好みに合わせて落ち着く環境を提供している。鉢花や観葉植物を置き統一した壁や家具で雰囲気作りを行っている。季節毎に御利用者として作品を作り何時でも鑑賞し楽しめるようホーム内にレイアウトしている。厨房の音や料理の香りも環境の一つとしている。 | 廊下や食堂ホール等は明るく余裕のあるスペースが確保され開放感に満ちており、随所に活花や季節感のある利用者の作品、展示物が飾られ、台所からは調理の音や匂いが伝わるなど、家庭的な雰囲気である。テーブルセットやテレビ等が利用者の動線に配慮して設置され、窓からは周辺の街並みが眺められている。清掃や空調、衛生管理等を徹底して快適に過ごせる環境になっており、利用者は好みの場所で四季を感じながら平穩に過ごしている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 特徴や好みに応じて家具を配置したり視線を遮断したりし環境を整えている。居室が寂しい方には職員の見守りの元、簡易ベッドやリクライニングソファで寛いでいただいている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>使わなくなった品物でも愛着ある品物は残し、居心地よい空間作りやレイアウトを御家族の意見も取り入れながら提供している。家族写真や思い出の品も飾り会話のきっかけとしている。</p> | <p>腰高窓にフローリング仕様の居室は明るく落ち着いた雰囲気、エアコン、ベッド、洗面台、ダンスが備えてある。利用者の意向に沿って整頓や清掃等を支援し快適な生活の維持に努めている。利用者は愛用していた小物や使い慣れた寝具、テレビ、家族写真等を持ち込み、また、自分の作品や長寿祝いで頂いた記念品等も飾って、その人らしく平穩に暮らせる居室となっている。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>習慣や動線をよく観察し生活しやすい、より良い環境を提供出来るよう状況変化に併せて都度検討行いながら空間作りを行っている。リスクも考え出来る事とした事も見極め、御本人と話し合いながら実施している。</p> | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | | 2 家族の2/3くらいと |
| | | ○ | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | 1 大いに増えている |
| | | ○ | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |

| | | | |
|----|------------------------------------|-----------------------|---------------|
| 66 | 職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | | 2 職員の2/3くらいが |
| | | <input type="radio"/> | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | <input type="radio"/> | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | <input type="radio"/> | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |